

# 令和7年度 連携型中高一貫教育 実施報告

<西濃地区> 揖斐川町立揖斐川中学校・揖斐川町立北和中学校・揖斐川町立谷汲中学校・岐阜県立揖斐高等学校

## 1 連携型中高一貫教育の目標とその達成に向けた具体的な取組

### (1) 連携型中高一貫教育の目標

地域に根ざし、豊かな個性と主体性をもった人材の育成

【中学校】意欲的に学習に取り組む 仲間と協力し、助け合う 地域に誇りをもち、貢献する

【高等学校】自ら学び、学力を高める さまざまな人と協力し合う 地域での役割を担い、貢献する

### (2) 連携型中高一貫教育の令和7年度の重点

『地域の教育力の向上』を目指して

- ・中高連携の活動と指導の充実を図るとともに、活動の精選を図る。
- ・本事業の一層の理解を求めて、地域との関わりを充実させる。

## 2 目標達成に向けた具体的な取組における成果と課題

目標	取組	概要及び成果と課題
確かな学力の育成	揖斐Basic 学習面談	<p>&lt;揖斐Basic&gt; 朝の短学活前やLHR等の時間に、テキストを使った学習を計画的に位置付け継続して取り組み、進学に向けて必要な学力の向上、高校での学習内容の理解を深めた。 ○振り返りの時間を確保したり、取組表を活用して苦手な分野を把握したりと、知識・技能を中心とした学力の向上を図ることができた。 ▲どの程度、確かな学力が向上したか、明確な指標を設ける必要がある。</p>  <p>【揖斐 Basic】</p>
		<p>&lt;学習面談&gt; 揖斐高等学校への進学を希望する中学校3年生を対象に、10月に一度実施した。面接礼法指導を事前に実施することで、早期に面接指導を行い、生徒の意識を高めた。 ○揖斐高校での面談であったため、進学を希望する生徒にとっては進学に対する思いを固めるよい機会となった。 ▲面接の評価について、生徒へのフィードバック方法を工夫し、さらに意欲が高まる方法を検討する必要がある。</p>  <p>【学習面談】</p>
	サマースクール	<p>&lt;サマースクール&gt;(7/23、24) 揖斐高等学校の進学を選択肢の一つとして考えている生徒を対象に、高校の教諭から国理英数社の入試レベルの講義を行った。のべ41人が参加した。 ○ポイントを絞った指導や入試に向けた演習問題、進学後の学習指導を受けることができ、学力の育成に加え、生徒の学びへの意欲を高めた。中学生アンケートでは「非常にわかりやすかった」「今後の学習につながる」と肯定的な回答した生徒が88%であった。 ▲「高校見学会」の開催日と重なっていたため、どちらも参加希望する生徒のニーズにそった計画としたい。</p>  <p>【サマースクール】</p>

	<p>教師の中高交流</p>	<p>&lt;教師交流&gt; 週に一度、高校教師と中学教師が互いの学校の授業に入り、生徒の様子を参観したり個別指導を行ったりした。継続した学習指導を行い、学力向上に向け、指導を行った。 ○高校教師が中学校で「生活の1日の流れ」「教科の種類」「学校行事」といった高校に関する内容の授業を行った。中学生からは、「授業が7時間授業になることに驚いた」「専門学科についてイメージできた」と学習意欲の向上につなげることができた。</p>	 <p>【教師交流】</p>
<p>学びに向かう力の育成</p>	<p>体験学習、学習成果発表会への参加</p>	<p>&lt;体験学習&gt;(7/23) 高校生が主に運営する「ビジネスコース」「食物コース」「被服コース」の3つの体験学習を、町内中学2年生を対象に行った。のべ60人が参加した。 ○中学生が早い時期から普通科以外の高校の授業に慣れ親しむ機会を位置づけ、キャリア教育の一助とできた。また高校生にとっては、運営を担当し、自己の学びを中学生へ発信する貴重な場とすることができた。 ○「興味関心があり、とても参考になった」と前向きに回答した割合が98%となり、高校進学に向けて学びに向かう力を高めることにつなげた。</p> <p>&lt;学習成果発表会&gt;(1/23) 高校3年生が高校での学習成果を、保護者、地域へ発表した。 ○高校生にとって、3年間の学びや成長について振り返る場とし、大きな自信を得て、卒業後への決意を固める機会となった。 ※例年、町内中学2年生が参加しているが、今年度は、大雪のため参加を見送った。</p>	 <p>【体験学習】</p>  <p>【学習成果発表会】</p>
	<p>中高連携行事の実施</p>	<p>&lt;高校生の出前授業&gt;(2/3) 学習成果発表会を終えた高校3年生が、中学へ出向き、高校卒業後の進路選択や学習成果発表会での様子について、交流をおこなった。中学2年生対象に高校生15名が参加した。 ○学習成果発表会後のタイミングで計画的に位置づけて、キャリア教育の充実を図ることができた。 ▲特定の中学校のみの実施となったため、すべての学校に展開できるように改善していく。</p>	 <p>【出前授業】</p>

	<p>地域における 中高生の活躍の場 の位置付け</p>	<p>&lt;中高生の活躍&gt; 中高生が町内の各活動やボランティア活動に積極的に参加して活躍する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○町青少年育成大会では高校生が司会進行、運営補助を行った。町の行事を支えるとともに、舞台上の活躍を通して、参加した高校生の自信につながった。</li> <li>○「いびがわマラソン」では、ボランティアとして203名の中高生がドリンクや参加賞の配付、ランナーの誘導などで大会を支えた。ランナーから温かい声をいただき、自己有用感を高めた。</li> <li>○MSリーダーズ（高校生）やMS Jリーダーズ（中学生）として参加し、ティッシュ配りやあいさつ活動といった街頭啓発活動を実施した。</li> <li>○公民館まつりや運動会など、地域のボランティア活動では、中高生が役員として活動し、会の企画や運営に携わり、地域の活性化の一助となった。</li> </ul>	 <p>【いびがわマラソンボランティア】</p>  <p>【街頭啓発活動】</p>
<p>地域に貢献する態度の育成</p>	<p>地域との連携</p>	<p>&lt;デュアル実習&gt; 高校生のデュアル系列の3年生が、毎週水曜日に町内外の企業で実習を行った。今年度は、5つの企業や事業所で仕事を体験した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○働くことの楽しさや苦勞を感じ取り、将来の目標を明確にするとともに、大人とコミュニケーションの大切さなど、社会人として必要となるスキルを高めることができた。</li> </ul> <p>&lt;中学生・高校生海外派遣事業&gt; 1989年から交流のあるアメリカ・ユタ州セントジョージ市へ町内中学生20名と揖斐高生1名が1/15～23にかけて海外派遣を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○町代表として参加し、現地のミドルスクールで現地の生徒と授業を一緒に受けたり、お互いの町や学校について紹介し合ったりすることを通して、現地の生活や文化について学び、日本や揖斐川町のよさに気付き、広い視野で物事を考える力を伸ばすことができた。</li> <li>○町青少年育成大会（令和8年5月）で、現地でのようすや学んだことを町民に向けて発表することを通して、地域に向けて学びを発信する予定である。</li> </ul> <p>▲地域に根差した人材の育成に向け、「揖斐川町」を知り、魅力や課題を考える活動の充実を図る必要がある。</p>	 <p>【デュアル実習】</p>  <p>【中・高生海外派遣事業】</p>
	<p>保護者・地域住民の啓発</p>	<p>&lt;保護者・地域住民の啓発&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○町の広報誌「広報いびがわ」や新聞各紙、ケーブルテレビなどを通して、中高生の活躍を地域住民へ伝えた。</li> <li>○各学校の「通信」を通して、学校の取組、サマースクールや体験学習の様子など、保護者に伝えることで、中高一貫教育に関する理解を深めることができた。</li> <li>○揖斐高校のホームページでは、行事を連絡するなど広く周知を図った。</li> </ul> <p>▲保護者・地域住民への理解を深めるために、行事に保護者や地域の方の参加を促していく。</p>	  <p>【広報いびがわ】</p>